

CONTENTS

- 3-4 環境報告書の範囲
リコーグループの事業概要
- 5 環境綱領
- 6 環境保全活動の考え方
- 7 環境保全活動の基盤と領域
- 8 環境行動計画
- 9-10 環境経営情報システム
環境マネジメントシステム
- 11 グリーンパートナーシップ
- 12 環境技術開発
環境教育・啓発
- 13-14 エコバランスの導入
- 15-18 省資源・リサイクル(製品)
- 19-20 省資源・リサイクル(事業所)
- 21 省エネルギー(製品)
- 22 省エネルギー(事業所)
- 23-24 汚染予防(製品)
- 25-26 汚染予防(事業所)
- 27 環境会計
- 28 リスクマネジメント(汚染・災害防止)
安全衛生(従業員の健康管理)
- 29 環境啓発活動
- 30 社会貢献
- 31-32 環境保全活動のあゆみ

私たちの地球は、豊かな包容力でさまざまな生物を育み、また人類の広範かつ活発な活動を支えてきてくれました。しかし近年の限界を超えた人類の活動は、地球の持つ包容力を傷め、他の生物との共存はおろか、私たち人類の存続さえも危うくしています。

将来の世代に生き生きとした豊かな地球を受け渡すために、私たちは、それぞれの活動をできる限り環境負荷の少ないものに変えていかなければなりません。そのためは、国・企業・個人などすべての地球市民が、自らの活動が環境に与えている負荷を知り、積極的にその削減に努めていく必要があります。そして、お互いが示唆しあい、協力しあうことも、環境保全活動の効果を高めるために大事であると考えています。

私たちリコーグループは地球市民の一員として、かけがえない地球を守ることを企業使命と考え、環境保全を経営の重要な柱の一つに据えています。したがって、できたらやろう、ではなく、自ら高い目標を定め率先して行動することが基本です。具体的には、開発・生産・販売・サービスなどすべての企業活動が環境に与える影響をより小さいものにしていくこと、お客様にお使いいただく製品をより環境負荷の少ないものにしていくこと、お使いいただいた製品を大切な資源として再利用していくこと、そして私たちの環境保全活動が適切なものであるかどうかご判断いただけるよう皆様に十分な情報開示を行うことなどを大変重要に考えています。これらの活動を通して、私たちは、地球環境保全および人類社会の存続に不可欠である、循環型社会の実現に積極的に貢献していきます。

この報告書には、リコーグループの1998年度の環境保全活動に関する内容と成果がまとめられています。1997年度からさらにステップアップした活動内容をお確かめいただくとともに、環境保全活動の質と効果を高めていくためにも、皆様のご意見をお寄せいただければ幸いです。

株式会社リコー
取締役社長

梶井正光

